

標準化分科会活動報告
(2006年~2007年度)
と2008年度の活動案について

2008年4月9日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)
分科会

※ 本資料の文責は分科会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

1. 標準化分科会の目的（再確認）

標準化分科会の活動目的

BCの普及啓発に貢献する為、BC関係の概念や用語の標準化を促進し、その内容をBCAOとして情報発信する。

2. 標準化分科会のメンバ

座長	山口真人（NEC）	
副座長	南宏二（NTTコミュニケーションズ） ※業務都合により2007年7月退会 前田泉（ITプロフェッショナル・グループ）	
メンバ（順不動、2008年3月末時点でのメーリングリスト登録者 順不同）		
大塚純一（IBM）	石田恵一（ABS Consulting）	青地忠浩（東京海上日動リスクコンサルティング）
葉菴真一（イメージシティ）	桃井英俊（NTTコミュニケーションズ）	大沢幸雄（大成建設）
向井健太郎（富士通）	菊地宏臣（EMCジャパン）	守茂昭（都市防災研究所）
大森司（エヌ・ケイ・リスクコンサルティング）	中一次（エヌ・ケイ・リスクコンサルティング）	田畑伸悟（IBM）
上田康浩（前田建設工業）	杉原英文（トラステッドソリューションズ）	石川芳朗（ソニー）
梶浦敏範（日立製作所）	杉山浩二（富士通エフ・アイ・ピー）	田中秀宜（日本ミクニヤ）
東尾正（日本消防設備安全センター）	磯打千雅子（日本ミクニヤ）	斎藤孝行（富士火災海上保険）
赤穂真一郎（日新火災海上保険）	崎原嘉行（富士火災海上保険）	指田朝久（東京海上日動リスクコンサルティング）
山本晴彦（個人会員）	丸谷浩明（京都大学）	砂原健利（富士通総研）
高橋徳行（東京海上日動リスクコンサルティング）	伊藤毅（富士通総研）	梶浦敏範（日立製作所）
細坪信二（危機管理対策機構）	平吾かおり（危機管理対策機構）	下垣豊（日立製作所）
	小方秀介（NEC）	越田真弘（NEC）

※ 本資料の文責は分科会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

3. 標準化分科会 06～07年度活動成果

□ 2006年度

成果物	作業期間	成果
標準テキスト作成 (55頁)	2006年4月～ 2006年7月	◆BC関係の概念や用語についてBCAOの考えを明確化（標準化）することに貢献。 ◆認証記念セミナー（東京・大阪）や基礎勉強会の講演資料として利用された。 ◆BCAO会員向けwebからダウンロードが可能となり、会員の啓発及びBCAOの認知向上に貢献。
初級事業継続管理者 講習会テキスト (86頁)	2006年8月～ 2007年2月	◆初級管理者が習得すべき基本的な概念や用語について標準化を実現。 ◆初級管理者講習会テキストとして利用された。
標準用語集 (DRAFT)の作成	2006年10月～ 2007年1月	◆初級者を対象にして最低限必要な用語の選出と解説を纏め用語集（DRAFT）を作成。
基礎勉強会講師及び QA対応	2006年8月～ 2006年10月	◆標準テキストを用いた講演及びQA対応を行い、会員の啓発に貢献。

※ 本資料の文責は分科会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

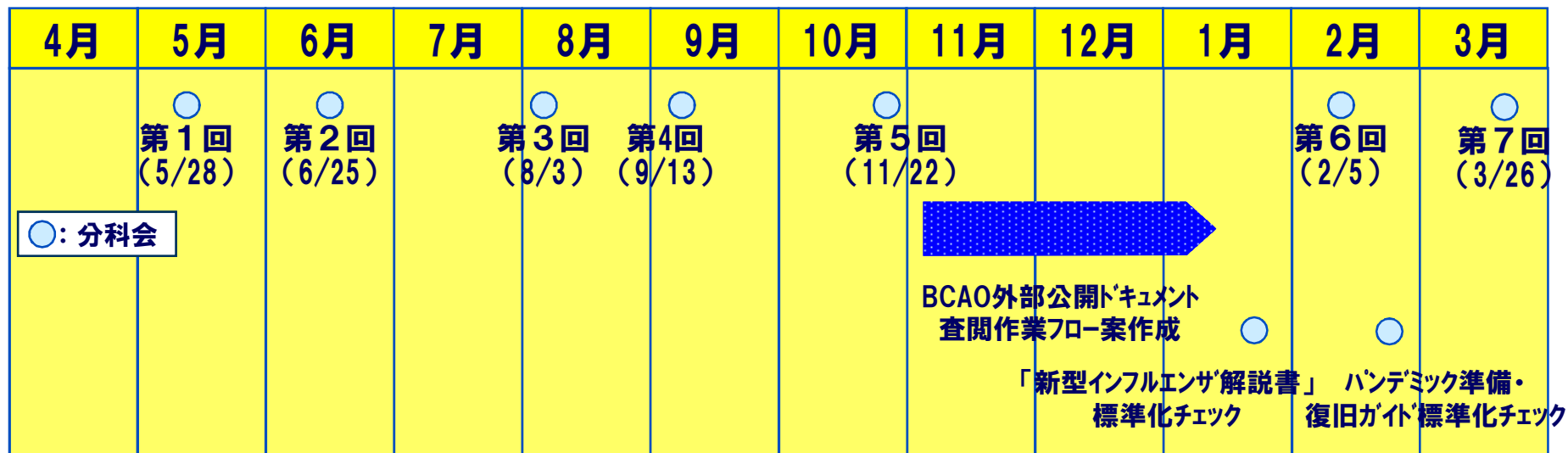
3. 標準化分科会 06～07年度活動成果

□ 2007年度

成果物	作業期間	成果
他の分科会からの標準化ニーズヒアリング	2007年6月～ 2007年9月	◆自然災害情報分科会、情報システム・バックアップオフィス分科会、B I A分科会から標準化に関するニーズをヒアリング ◆上記をもとに標準化すべき領域について検討
標準化動向についての勉強会	2007年9月	◆黄野理事を講師に招き、ISO/JIS化の動向把握と理解、分科会内での議論
BCAO外部公開文書の標準化チェック	2007年12月～ 2008年2月	◆BCAO外部公開文書の査閲ルールやチェックシート等の作成 ◆以下の文書の標準化観点からの査閲を実施 ➢「新型インフルエンザ解説書」 ➢「パンデミック準備・復旧ガイド」
会員同士の情報交換	2008年2月	◆「NECにおける事業継続の取り組み」を紹介、分科会内での議論

※ 本資料の文責は分科会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

4. 標準化分科会 07年度活動の軌跡



回	日時	テーマ
第1回	5 / 28	・ 自然災害情報分科会からの依頼事項について ・ 今年度標準化分科会の活動内容について
第2回	6 / 25	・ 情報システム・バックアップオフィス分科会との意見交換
第3回	8 / 3	・ BIA分科会との意見交換
第4回	9 / 13	・ ISO/JIS化の動向把握
第5回	11 / 22	・ 今後の標準化分科会の活動内容と分担について
第6回	2 / 5	・ 「NECの事業継続の取り組み」紹介 ・ 新型インフルエンザ分科会からの標準チェックについて分担打合せ
第7回	3 / 26	・ 2007年度活動の纏めと成果発表会の準備

※ 本資料の文責は分科会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

5. 各分科会からの標準化要望ヒアリング

- ◆ 災害発生時の時間軸での各フェーズ（発災、復旧、他）について標準化をして欲しい
〔自然災害情報分科会〕
- ◆ IT用語やPAS用語について整理を行って欲しい
〔情報システム・バックアップオフィス分科会〕
- ◆ ISO・JIS化の動向をウォッチして、ISO/JISの内容をもとに標準化を行って欲しい
- ◆ 主任カリキュラムの内容を下に用語集を作成して欲しい
〔BIA分科会〕

※ 本資料の文責は分科会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

6.標準ドキュメントチェック作業

標準化ドキュメントチェックシート(DRAFT)

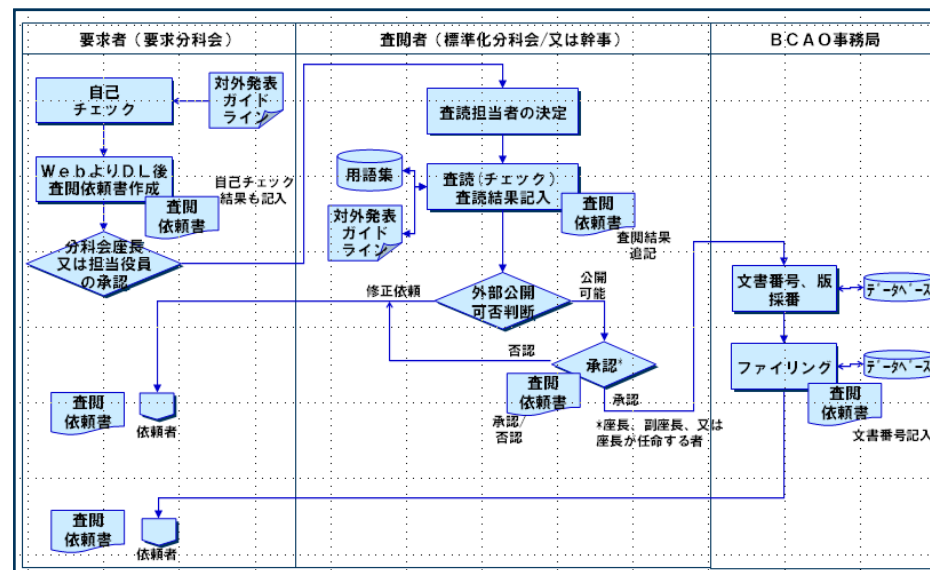
ドキュメント名		BCAO 新型インフル解説書2008V1		受付番号	STD-07-001
作成分科会		インフルエンザ分科会		ドキュメント番号	
作成責任者		深谷純子		頁数	32ページ
公開先		<input checked="" type="radio"/> BCAO内 <input type="radio"/> BCAO外(公開先特定) <input type="radio"/> BCAO外(公開先未特定)		版数	初版
文書形式		PDF		受付日	2008年1月8日
チェック担当者		小方秀介		希望納期	
チェック承認者				完了日	2008年1月15日

チェック事項	参照先	日付	担当者	コメント
BCIに特化した用語の統一	用語集DRAFT版 (標準化分科会作成)	2008年1月11日	小方秀介	
公序良俗に反する記述、誹謗中傷語、不適切な用語の排除	標準化分科会砂原氏作成ガイドライン(9及びウィキペディア「放送禁止用語」(9))	2008年1月11日	小方秀介	
特定団体に利する記述の排除	特になし(目視チェック)	2008年1月11日	小方秀介	

チェック結果 (区分: BC用語の統一:統一 不適切用語:不適 特定団体の利益:特因 文書内の用語の不統一:不統一 その他:他)						
No.	頁	行/場所	区分	指摘箇所(用語)	推奨用語	備考
1	3ページ	(2) ①	不統一	代替視点	代替施設	P18にも同じ用語あり
2	7ページ	表の右側 ④	統一	バックアップ施設、設備	バックアップサイト	
3	8ページ	表の右側 a)	統一	BCPプログラム	BCP	
4	10ページ	表の右側 b)	統一	復旧可能時間	目標復旧時間	
5	17ページ	表の右側 ⑤	統一	業務継続	事業継続	22、25頁にも同じ用語あり
6	27ページ	表の右側 8.3	統一	事業継続プラン	事業継続計画	
7						
8						
9						
10						
11						
12						

特記事項:
 ・本文書はISO日本標準の骨子と対比させて記述されている為、標準化用語集から選別しても、ISOに本来骨子に採用されている用語を用いている限りは差しとしました。
 ・標準化用語集が暫定版(DRAFT)の為、用語集と照らし合わせて明らかに選別している用語のみをチェックした。

標準化チェックフロー(DRAFT)



※ 本資料の文責は分科会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

7.標準化分科会 08年度の活動予定

- ◆ 標準化担当の幹事と連携を行い、BCAO外部公開ドキュメントに関する標準化チェックの仕組みを機能させる。
 - 幹事メンバと業務内容について擦り合せを実施
- ◆ 標準テキスト（06年度作成）を初級テキスト・主任カリキュラムテキストの内容をもとに見直し最新版に維持する。

特定非営利活動法人
事業継続推進機構
標準化分科会

A Specified Non-Profit Japanese Corporation
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)